

伊勢崎佐波医師会病院

院内感染対策に関する取り組み

1. 院内感染対策の組織について

当院は、感染対策に関する院内全体の問題点を把握し、改善策を講じるために「院内感染対策委員会」を設置しています。その実働部隊として「院内感染対策チーム（ICT）」を設置し、ミーティングを月1回以上開催しています。

また週1回巡回を行い、抗菌薬の適性使用の指導や感染問題に迅速に対応しています。

2. 院内感染対策に関する職員研修について

全職員を対象とした感染対策に関する研修会は年2回以上開催しています。また、各部署に感染対策マニュアルを配備し、感染防止のための基本的な考え方や具体的な方法について、全職員への周知を行っています。

3. 感染症発生状況報告について

当院の細菌検査室からは、各病棟に薬剤耐性菌や院内感染上問題となる細菌の部署別検出状況を週報として各職員に知らせ、注意喚起をします。ICT ミーティングに各種分離菌月報を提出し、検出状況を共有しています。

4. 院内感染発生時の対応について

院内感染発生が疑われる事例が発生した場合には、発生部署が ICT に報告します。ICT は速やかに現状の確認、疫学的調査、感染対策の徹底などを行い、感染源や感染経路を究明し、感染拡大を防止します。状況は随時、病院管理者に報告されます。必要に応じて院内感染防止委員会が招集される他、各種の届出や連絡を行います。

5. 患者さんへの情報提供

感染症の流行が見られる場合には、ポスター等の掲示物で広く院内に情報提供を行います。合わせて感染防止の意義及び手洗い・マスクの着用などについて、理解と協力をお願いします。

病院長